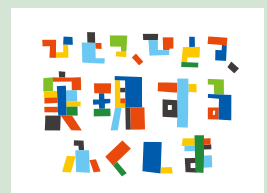


林業福島

No. **741**

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 小檜山善継



5

2026

監 修 ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 滝 を 彩 る 春



令和八年度の取組

福島県農林水産部長
小 貫 薫

皆様には、日頃より本県の森林整備や林業・木材産業の振興に御協力いただき、厚く御礼申し上げます。

本県では、「福島県農林水産業振興計画」に基づき、「復興の加速化」「担い手の確保・育成」など六つの施策を展開し、農林水産業・農山漁村の更なる発展に向けて積極的に取組を進めております。また、本年度は「第3期復興・創生期間」の始動の年であるとともに、福島県政百五十周年の節目の年でもあります。先人たちが守り育ててきた豊かな森林を次の世代へ引き継ぎ、持続可能な資源として活用していけるよう、森林の有する多面的機能の高度発揮と地域の活力を生み出す林業振興を各種施策により推進してまいります。

まず、震災・原発事故からの復興につきましては、放射性物質の影響により停滞した森林整備の推進や、きこの原木の生産再開に向け、「ふくしま森林再生事業」や「広葉樹林再生事業」に取り組み、森林の再生を図ります。また、安全で安心な特用林産物の生産振興のため、安全なきのこ生産に必要な資材導入支援や、山菜・野生きのこの出荷制限解除に向けた取組を継続してまいります。

平成二十三年度から実施してきた海岸防災林事業は、今年度全ての地区で整備が完了いたします。御尽力いただいた多くの関係者の皆様に感謝申し上げます。今後、海岸防災林の適切な保育管理に努めてまいります。近年、主伐期を迎えたスギ人工林においては、社会問題となっている花粉症の発生源対策として、花粉の少ない苗木等への植替え支援を進めるとともに、収穫期を迎えた人工林の主伐・再造林を推進してまいります。また、「ふくしま県産材利用推進方針」に基づき、木材加工施設の整備支援を進めることで、県産材の利用促進と脱炭素社会の実現を目指し貢献します。さらに、森林の再生や林業・木材産業の成長産業化実現に必要な人材の育成・確保については、引き続き、「林業アカデミーふくしま」の長期研修等により取り組んでまいります。

加えて、福島県森林環境税は、今年度から県民の皆様親しみをもちもたらえるよう、「ふくしま森林（もり）づくり県民税」と名称を変更しました。これまで以上に県民の森林への理解を深め、新たな森林（もり）づくりを推進する施策に取り組んでまいります。

今年度も、本県の森林再生と林業・木材産業の復興、成長産業化に向け、全力で取り組んでまいりますので、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

《も く じ》

とびら

令和八年度の取組

- 福島県農林水産部長 小 貫 薫… 1
- 緑の募金にご協力を!!… 2
- 令和8年度林業アカデミーふくしま就業前長期研修生12名が入講しました!… 3～6
- 『STOP!熱中症 クールワークキャンペーンふくしま』の実施について… 7

- 普及指導員通信… 8
- フォレストだより… 9
- 苗協だより… 10
- 木の文化を育む⁸⁶… 11
- 木材市況・ふくしま東西南北… 12
- はなしのひろば第156話・お知らせコーナー… 13



緑の募金にご協力を!!

公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会 緑化推進局

2026年 緑化運動標語 「植える木に 夢がふくらむ 緑の郷土」

「緑の募金」運動（当初は「緑の羽根募金」）は昭和25年より始まり、休むことなく、今年で77年目を迎えました。

緑の募金は、県内の緑化活動のための貴重な財源です。

当協会は、毎年4月1日～5月31日（春季）と9月1日～10月31日（秋季）を緑の募金運動推進期間として、活動させていただいております。

緑化運動につきましては、その趣旨を皆様にご理解いただくことが重要でありますことから積極的にPRを行い、「福島緑を守る」という意識の醸成を高めるため、引き続き活動を進めてまいります。

募金活動は、例年どおり4月1日からスタートしておりますので、皆さまのご理解ご協力をよろしく願いたします。

県内各地で行われている緑化活動



小学生による学校緑化活動



県内緑化公募事業 作業風景

令和8年度 緑の募金運動

1. 募金の目標額 51,000,000円
2. 募金運動の期間 4月1日～5月31日（春の新緑シーズン）
9月1日～10月31日（秋の紅葉シーズン）
3. 事業内容 (1) 森林の整備
緑化苗木の配布、県内緑化公募、地方植樹祭・育樹祭の開催等
(2) 緑化の推進
緑の少年団の育成、学校緑化活動促進、花いっぱい運動、緑の写真コンクールの実施 等
4. お問い合わせ先 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会（緑化推進局 緑化推進課）
〒960-8043 福島市中町5-18 福島県林業会館内
TEL：024-524-1480 FAX：024-521-3246



← こちらからも
募金できます！
緑の募金QRコード
(クレジットカード対応)

令和八年度林業アカデミー ふくしま就業前長期研修生 十二名が入講しました！

福島県林業研究センター

桜のつぼみが花開き、春の訪れを感じさせる四月六日、県林業研究センターの研修施設において、林業アカデミーふくしま就業前長期研修令和八年度入講式を執り行いました。

鈴木優樹県議会農林水産委員長をはじめ、多くの御来賓の方々の御臨席の下、本県の林業で新たに活躍を目指す研修生十二名が出席しました。

式では、県林業研究センター石井所長が研修生一人ひとりに研修許可書と防護ヘルメットを交付し、式辞を述べました。小貫農林水産部長からは「このアカデミーに集った仲間

と励まし合い、切磋琢磨しながら挑戦を続けてほしい。一步一步経験を積み重ね、福島の林業の未来を切り拓く柚人として大きく成長してほしい。」と期待の言葉をいただきました。

また、来賓の鈴木委員長からは、研修生の前途を激励する「念ずれば花ひらく」という言葉が贈られました。

研修生を代表して久岐伊佐さんが

誓いの言葉を述べ「充実した設備が整っているこの恵まれた環境で高い専門性を養い、社会に貢献することが、このアカデミーに集う者の使命であると考えている。研修生一同、それぞれの目標に向けて日々研修に励みたい。」と研修生活への決意を表明しました。

今後の研修運営にあたり、研修生の作業技術の習得や現場に必要な資格取得、さらには就職希望先へのインターンシップの受け入れやマッチング等につきまして、引き続き森林・林業関係者の皆様の御協力をよろしく願います。

※研修の様子は、「林業福島」で掲載するのと同時に、Facebook・Instagramで随時公開して参りますので、ぜひご覧ください。



林業アカデミーふくしま
Facebook



#FORESTRY.FC
林業アカデミーふくしま
Instagram



研修生代表誓いの言葉



入講許可書と防護ヘルメットの交付



研修生12名始動します！



記念撮影



あさくら 朝倉 まなぶ 学

私が林業アカデミーふくしまに入講した理由は、日本の四季を感じながら自然と深く関わる仕事に魅力を感じたからです。もともと山や森林が好きで、伐採・植林・育林というサイクルを通じて自然環境を守りながら働ける林業に関心を持つようになりしました。特にオープンキャンパスで実際の伐倒作業を見学し、その迫力に強く魅力を感じました。

林業は木材生産にとどまらず、災害防止や二酸化炭素吸収といった環境保全においても重要な役割を担っている点にも惹かれています。林業アカデミーふくしまでは、未経験から基礎・実践を体系的に学べる環境が整っており、必要な資格取得のサポートも充実しています。また、福島豊かな森林資源を活かした実践的な学びができることも、志望した大きな理由です。

経験豊富な講師の方々から、教科書には載っていない現場ならではの知識や技術を吸収し、将来は地域に長く貢献できる林業従事者になりたいと考えています。



えんどう 遠藤 つよし 剛

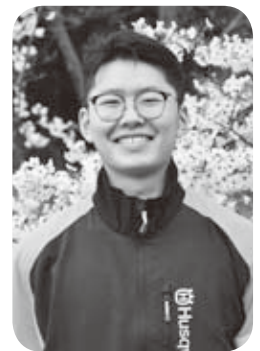
埼玉県から福島県へUターンするにあたり、再就職先として以前から関心のあった林業に挑戦したいと考えました。もともとキャンプなど自然に触れることが好きで林業に興味を持ち、田村市の林業体験ツアーに参加しました。

ツアーではチェーンソーでの玉切りや伐倒を体験し、今まで感じたことのない緊張感ややり遂げた後の達成感を実感しました。

また、グラップル操作による丸太の移動では、重機を扱う難しさと同じ時に楽しさも感じる事ができました。これらの経験を通じて林業への関心が一層高まり、森林の中で働く仕事に携わりたいと強く思うようになりました。

アカデミーではチェーンソーと重機の基礎技術や森林に関する知識を身に付け、現場での安全作業を意識しながらより多くの経験を積み重ね、着実に成長していきたいです。

森林資源の循環維持に貢献できる林業従事者を目指し、福島のエコな担い手として活躍できるよう頑張ります。

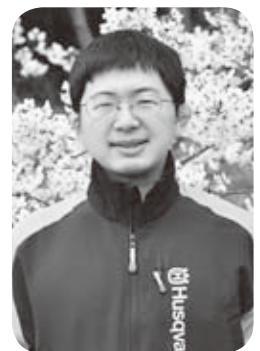


きくち 伊佐 久岐

私はもともと自然が好きで、自然に関わる仕事をしたいと漠然と考えていました。高校で進路活動が始まった際、担任の先生に相談したところ林業アカデミーふくしまを勧められ、「自分がやりたいのはこれだ」と確信し、入講を決意しました。

これからの一年間の研修では、林業に必要な知識・技術・機械操作の基礎をしっかり身に付けたいと考えています。高校卒業後すぐの入講であり、まだ林業について何も分からない状態で、不安も多いですが、充実した設備を活かし、講師の方々の指導を最大限に活かし、知識と技術を余すことなく吸収し自分のものにしていきたいです。

林業は危険を伴う過酷な仕事です。だからこそ、この研修期間の一日一日を大切にし、どのような厳しい現場でも通用できる技術と精神力を養っていききたいと思っています。将来は林業をもっと盛り上げて若い人たちと林業を繋げるような、山を末永く支えていけるような立派な植人になるために精進していきます。



すずき 鈴木 たけひで 武秀

私は前職で林業に関わる仕事をしており、その時に林業アカデミーふくしまの研修を知りました。当初は林業について学ぶ施設があるといったぐらいの認識でしたが、パンフレット等で見えたインタビュー等の研修生の笑顔が印象的でした。

あるとき自分の将来についてどのようにするかを考えた時に、今まで関わった産業界で特に興味・関心を惹かれたのが林業だったため、昨年十月の福島県林業祭等に足を運び、事前の説明等を受けた後に長期研修への参加を決めました。

特段技術や資格等を有していなかったため、十を超える様々な資格が取れることや、実習を通して基礎から学べることで、インターンシップ等を通じて現場を学べること等がとても魅力的でした。

将来的には、研修で得た知識・技術・資格を活かし、福島のエコな担い手として役立つことで地元貢献していきたいと思っています。



すどう 須藤
みなみ 翠

私は幼い頃から森林や水田など、豊かな自然に囲まれて過ごし、今でも地元である福島の豊かな自然が大好きです。この豊かさを守りたいと思い、環境や森林に関係する仕事として「林業」に興味を持ち始めました。そんな中で林業アカデミーふくしまについて知り、長期研修を志望しました。

研修では、森林と環境に関わる知識を確実につけ、チェーンソー等の伐木に使われる機材・重機の安全な操作を学んでいきたいと考えています。特に、近年の日本では異常気象による山地災害などの問題が多々あり、そういった問題を改善・予防するためにも林業アカデミーふくしまで正しい知識を身に付け、森林を正しく管理できるようになりたいと思います。また、林業は他の職業と比べて事故やケガの多い職業なので、使用する機械類の安全な操作方法を学び、自分や他の人が怪我しないような技術や知識を身につけます。

研修後には林業を通して福島の森林や環境の保全に貢献できるように、一年間精進していきます。



ひるた 蛭田
ひでかつ 英勝

私は林業が大好きです。林業を題材とした映画の中でチェーンソーを操り伐倒する姿に心を打たれ、この道に進むことを決意しました。その後ご縁があり林業アカデミーふくしまを紹介していただき、ここで学びたいという思いが一層強まりました。

豊かな森林に恵まれた場所で林業を学べることに大きな魅力を感じています。

アカデミーでは、必要な知識や技術だけでなく、現場を想定した実践的な学びや仲間と互いに高め合える環境にも魅力を感じています。

この一年で特に身に付けたいのは、確実な伐倒技術と高い安全意識です。林業は危険を伴う仕事だからこそ、安全に働ける環境を自らが率先してつくり上げることが重要だと考えています。事故を防ぎ安全な林業を実現することで、この仕事の魅力を多くの人に伝えていきたいと思っています。

福島の森林を支える担い手の一人として、着実に成長してまいります。



みやかわ 宮川
かずひろ 和太

アカデミーに入講する前は、行政の中で鳥獣被害対策の現場に携わっておりまし。

現行の対策や方法論では、どうしても対処療法的にならざるを得ず、根本的なところの問題や課題解決は難しいと考えていた時に、林業アカデミーふくしまの存在を知りました。

森林や山地、里山と呼ばれる環境そのものに対して、自らが直接的に関わりをもてる技術や知識、経験を得られるのではないかと思います、入講いたしました。

人間だけでなく、野生動物を含むあらゆる生態系にとって「より良い森林環境」とはどのようなものかを深く考え、学んでいきたいと思っています。そしてその環境づくりの現場において、行政での経験とアカデミーで得る知見を組み合わせ、少しでも貢献できる人材になりたいと考えております。



むらこし 村越
みちお 理朗

以前の仕事を退職後、自然に関わる分野で働きたく幾つか候補を考えました。その中で林業に関心を持つようになったのは、管理が必要な森林が多いことや林業従事者の高齢化など林業の現状を知ること、事業としての将来性があり人材への需要も多いと感じたためです。

しかし、林業に関するスキルのないまま就業することへの不安もあり、林業アカデミーふくしまへの入講を決めました。本研修では林業の幅広い技術と知識を学ぶことが出来るだけではなく、多くの事業者でのインターンシップの機会も用意されているので、自分の希望に添った進路を選ぶことができると考えています。

林業就業後には森林造成・維持の業務に留まらず、以前従事していたSEの経験をスマート林業などICTを活用する分野に繋げていきたいです。森林調査の際にはそのシステムの運用を行い、取得したデータを蓄積・管理していくことで、適切な森林管理を長期的に継続することに貢献したいです。



もんま まさや
紋間 雅也

林業アカデミーふくしまでの一年間を、林業の基礎から実践までを着実に身につけ、自分自身を大きく成長させる大切な期間にしたいと考えています。

特に伐採作業では、正確で安全な技術の習得はもちろんのこと、立木を切り倒す伐倒や伐り倒した木材を運材する際に様々な重機を運転することから多くの危険が潜んでいます。そのため、安全を最優先に考えた行動を常に意識し、危険を予測しながら作業できる力身につけたいです。仲間と声を掛け合い、確認を徹底することで無事故での作業を実現し、安全意識の高い林業従事者を目指します。

また、多くの資格を取得できたり、林業に携わる仕事を学べるインターンシップがあったりと恵まれた環境にいるため、積極的に挑戦し知識と技術の幅を広げていきたいです。一年間という短い間ですがひとつひとつの経験を大切に、現場で信頼される人材へと成長できるよう努力していきます。



やない しょうや
箭内 祥弥

私が林業を志した理由は、以前から自然に興味があり、森林に関わる仕事として林業を知ったことがきっかけです。

地元双葉郡富岡町の森林は東日本大震災後放置され、太陽光発電によるソーラーパネルが敷き詰められ、自然の景観がなくなりつつあります。林業アカデミーふくしまで知識と技術を身に付け、地元富岡町の森林・景観の維持に貢献することが私の目標です。

アカデミーと林業について調べていくうちに林業の奥深さを知り自分でチェーンソーを持って木を切ってみたいと思うようになりました。学生時代は普通科だったので林業についてはまだまだ未熟で知識もないですが、この一年間の研修で知識と技術を身につけ、その経験を活かして富岡町の林業事業体に就職し、復興にも微力ながら携わりたいです。



やなどり ゆうき
梁取 佑規

私が林業アカデミーふくしまへの入講を決意した理由は二つあります。

一つ目は、父が林業関係の職に就いており、私も父のように林業に携わりたいと思ったからです。

二つ目は、森林が木材資源としての価値だけでなく、水源の保全や災害防止など多くの重要な役割を担っていることを知り、近年深刻化している担い手不足や管理の遅れといった課題解決に自分も関わりたいと考えたからです。

林業アカデミーふくしまで専門的な知識と技術を基礎から学び、現場で即戦力として活躍できる人材になりたいと思っています。

今後の目標は、安全で効率的な作業技術を身につけるとともに、地域の森林を適切に管理し、持続可能な林業の発展に貢献することです。また、森林の大切さを多くの人に伝えられる担い手になれるよう、努力していきます。



わたなべ こうじ
渡邊 昊司

私が林業アカデミーふくしまに入講したきっかけは、自分の進路について悩んでいた際に、親からの紹介で林業アカデミーふくしまの存在を知り、見学会に参加して森林を守り育て自然環境や地域社会に貢献する林業という仕事に魅力を感じたからです。

このアカデミーの一年間の研修を通して身につけたいことが二つあります。

一つ目は、安全な作業技術を身につけることです。林業は豊かな自然と向き合い森を育てる仕事ですが、伐採など危険を伴う作業がありますが、自身の安全を守るためにも、安全意識と正しい作業手順をしっかり身に付けたいと考えています。

二つ目は、チェーンソーを上手に扱えるようになることです。見学会では研修生がチェーンソーで木を伐る練習風景を見学し、チェーンソーを扱う姿に憧れを感じました。一年間の研修を通して、安全で正確な作業技術を身につけ、福島県の林業に貢献したいです。

『STOP! 熱中症クールワークキャンペーンふくしま』 の実施

福島労働局労働基準部健康安全課

令和7年の福島県内の職場における熱中症による労働災害発生状況（確定値）は、死亡者はいませんが、休業4日以上死傷者数が51人となり、前年の19人（令和6年確定値）から大幅に増加しました。林業においても、気温が高い中での草刈り作業中に熱中症となる事案が1件発生しています。

また、令和7年の全国の職場における熱中症による労働災害発生状況（令和7年12月末速報値）は、休業4日以上死傷者数が1,681人（令和6年同期1,195人）、うち死亡者数が15人（令和6年同期30人）となっており、死亡者数が大きく減少した一方で、死傷者数は福島県と同様に大幅に増加しました。なお、林業においては、死亡者はいませんが、休業4日以上死傷者数は9人となっています。

令和7年に熱中症による死傷者数が増加した原因として気温の上昇が考えられる一方で、死亡者数が減少した要因としては、令和7年6月に施行された改正労働安全衛生規則により対象作業を行う事業者に対し、発見体制の整備・実施手順の作成・関係者への周知が義務付けられ、熱中症対策が強化されたこと等が挙げられます。

また、令和8年3月には、熱中症予防対策のさらなる推進のため、職場における熱中症予防対策の具体的な実施事項を定めた「職場における熱中症防止のためのガイドライン」が策定されました。

福島労働局及び各労働基準監督署では、熱中症による労働災害を減少させるために、改正労働安全衛生規則及び同ガイドラインに基づく措置が確実に実施されるよう、「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーンふくしま」（キャンペーン期間：5月1日～9月30日、準備期間：4月、重点取組期間：7月）を展開し、キャンペーン期間中は、あらゆる機会を捉え熱中症予防対策の徹底を図っていくこととしています。

福島労働局のホームページでは、改正労働安全衛生規則及び同ガイドラインの内容について分かりやすくまとめたリーフレットや熱中症対策の取組状況を簡単に確認することができるチェックリストなどを公開しています。

キャンペーン期間中は、こうした資料などを活用して、職場における熱中症リスクの洗い出しやリスクの評価を行ったうえで、業種や作業内容等の実態に応じた熱中症防止対策を講じることとしてください。

☀ 熱中症防止の取組について各種資料公開中



✔ 最新情報は福島局労働局HPやXで発信中です



📄 福島労働局HP

(https://jsite.mhlw.go.jp/fukushimaroudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/anzen_eisei.html)



📄 公式X

福島労働局【公式】@FKSMmhlw
(<https://x.com/FKSMmhlw>)



主伐・再造林の推進と今後の 森林整備に向けた取組

福島県いわき農林事務所

林業普及指導員 橋本正伸

1 はじめに

いわき地区は、県内でも有数の人工林資源を有する地区ですが、齢級構成をみると、除伐・間伐等の森林整備作業が必要なⅢ～Ⅸ齢級（16～45年生）の林分が5,227ha（16.0%）、既に主伐期に達しているⅩ齢級（46～50年生）以上の林分が27,434ha（83.8%）と、主伐期の林分の割合が高くなっています。今後、充実している森林資源の積極的活用と、持続可能な森林経営基盤を維持していくため、主伐・再造林による齢級構成の平準化、併せて将来的な森林管理を見据えた新しい森林整備技術の導入にも取り組んでいく必要があります。

2 主な取組内容

森林所有者から「次の施業では収入間伐ではなく主伐・再造林をしたい。うまく活用できる補助制度はないか？」といった相談・問い合わせは増えており、農林事務所では、相談のあった森林所有者や林業事業者に対して、個別相談や事業者担当者説明会の席上において、再造林に関する補助制度の紹介を行っております。

併せて、造林後の保育施業の省略可も見据えた低密度植栽等の低コスト化技術の導入に加え、花粉の少ない苗木の活用についても働きかけを行い、再造林の実施を検討してもらっております。

3 これまでの取組成果

(1)造林（植栽）の面積について

森林整備関係事業における造林面積は、令和6年度は25ha（うち再造林22ha）、令和7年度は28ha（うち再造林27ha）と年々増加傾向にあります。特に、管内では一貫作業システムによる主伐・再造林施業に対する森林所有者・事業者の意識・期待の高まりが感じられます。

(2)低コスト化技術の導入について

令和6年度事業では、当事務所管内では事例がほとんどない少花粉スギ苗木の低密度植栽（1,500本／ha）を小面積（0.21ha）ながら秋植えて実施しており、その後の生育も順調です。令和7年度事業では、少花粉スギ苗木や特定母樹由来の特定苗木による植栽面積が合計12haまで増加し、さらに、令和8年度以降は、ha当たり2,000本以下の低密度植栽の実施について、森林所有者の理解は深まっています。

4 今後の展開

一貫作業システム等による主伐・再造林の推進や低密度植栽等の低コスト化技術の導入について、森林所有者や事業者に少しずつ広がりを見せていますが、再造林後の保育施業も含めて定着化させるには、引き続き働きかけを行っていく必要があります。

なお、低コスト化技術の導入については、森林組合等の事業者と協力しながら実施箇所の生育状況の継続調査や事例の蓄積を図っていく必要があります。試験研究機関の協力・助言をいただきながら、実証調査的な取り組みも進めたいと考えております。



団共長連絡協議会・事業推進会議



事業者担当者説明会



森林組合アドバイザー説明会

フォレストだより

「知られざる ハンミョウの世界」

みなさんは「ハンミョウ」という昆虫をご存じですか？タマムシと並んで、日本で最も美しいと言われる甲虫です。

とあるゲームの中にも登場するた
め、知っているお子さんも多いよう
ですが、野外で実際に見ることは難
しい昆虫です。しかし、フォレスト
パークあたりでは「ナミハンミョ
ウ」「ニワハンミョウ」の二種類を
見ることができます。今回はこのハ
ンミョウについて紹介します。

ハンミョウは昼行性で、明るい時
間に探すことができるため、お子さ
んと一緒に探しやすい昆虫とも言え
ます。フォレストパークあたりで
は、沢の近くで日当たりの良い散策
路の脇など、土が見えているところ
で見つけることができます。また、
ニワハンミョウは、オートキャンプ
場内のテントサイト周辺でも見つけ
ることができます。

ただし、ハンミョウは非常に警戒
心が強く、人間が近づくと数メートル

ル先に飛んで逃げてしまいます。近
づくとき少し前に飛んでとどまり。ま
た近づくとき少し前に飛んで逃げるを
繰り返します。その行動が、まるで
道を教えてくれているかのように見
えるため、「道教え」「道しるべ」と
も呼ばれています。

もし、ハンミョウを見つかること
ができたなら、そっと追いかけてみて
ください。もしかしたらまだ知らな
い森の不思議に案内してくれるかも
しれません。

◎ハンミョウの目が大きい！

①目が大きい！
なんかよく見えそう。それもそ
のほか、ハンミョウは肉食性で非
常に俊敏に動き回り、アリなどの
小動物を捕らえます。動く獲物を
瞬時に見つけ、高速で移動しなが
ら捕食するために、優れた視力が
必要なのです。

②とっても強そうな顎！しかも色が
白い！

他の昆虫を顎で捕らえ、肉をか
み切って食べます。噛まれると、
とっても痛いのでご注意ください。
い。

③とにかく脚が長い！

とても良く走れる。人間に換算
するとなんと時速八〇キロです。

④非常に素早い！

別名・昆虫界の最速ハンター。
スピードがあまりに速いため、ハ
ンミョウ自身、目での情報処理が
追いつかず、獲物を鮮明に見るこ
とができないそうです。

⑤宝石みたいに色が綺麗！

赤、青、緑などさまざまな色が
キラキラと輝き、日本一美しい甲
虫とも評されています。（※ニワ
ハンミョウは渋め。）

◎森の不思議を教えてください

ハンミョウは普段気づかないよう
な、日当たりが良く、開けた土の地
面（砂地）へと案内してくれます。
そこは、小さなハンミョウたちが巣
を作り、たくましく生きる「小さな
生き物たちの世界」です。

（担当／若林・監修／遠藤）



ナミハンミョウ



ニワハンミョウ

団体のページ

苗協だより



再造林の増加に備え
花粉症対策苗木作りに
取り組んでいます



はじめに

令和五年から国や県が中心となった花粉発生源対策が本格的に始まり、十年後の令和十五年度までにスギ人工林の面積を二割削減する、伐採・植え替えを加速化する施策が打ち出されたほか、花粉の少ないスギ苗木の生産割合を九割以上に引き上げる施策が掲げられたところです。

また、県内における大型製材工場や木質バイオマス発電などによる木材需要の大幅な増加が期待され、それに伴う人工林伐採の増加が予想されます。

今後は、スギ林の伐採と「花粉の少ない品種」等への植替えが進められるほか、人工林伐採跡地への再造林が進むこととなりますが、当組合におきましては花粉の少ないスギ苗をはじめとした造林用苗木の需要にしっかりと対応出来るよう体制を整備しているところです。

花粉の少ない品種

「花粉の少ない品種」とは、雄花の着花や花粉に関する特性のほか成長、通

直性（林業用種苗としての特性）などの基準を満たしたもので、以下の表に記載された品種と定義されています。

【一般的なスギと花粉の少ない品種の違い】

樹種・品種	花粉量 (スギ精英樹と比較した割合)	特性	当組合で 生産の有無	現在の配布 可能地域
一般的なスギ スギ精英樹 (実生苗)	100%	これまでの一般的なスギ	有り	県内全域
スギ特定苗木 (特定母樹) (実生苗)	50%以下	花粉量が一般のスギの半分程度、成長が1.5倍程度	有り	中通り・浜通り 会津(R10年秋以降)
低花粉スギ苗木	20%以下	花粉量が相当少ない	—	—
少花粉スギ苗木 (実生苗)	1%以下	ほとんど花粉を生産しない	有り	中通り・浜通り 会津(今年秋以降)
無花粉スギ苗木	0%	花粉を全く生産しない	—	—

※「スギ特定苗木(特定母樹)」は、「スギ花粉発生源対策推進方針」の改正により「花粉症対策に資するスギ苗木」から「花粉の少ない品種」として定義されました。

当組合では、「花粉の少ない品種」のうち種子を確保できる「スギ特定苗木」の

と「少花粉スギ苗木」の二種類を生産・出荷しています。年々出荷量を増加させており令和七年にはスギ特定苗木約五三万本、少花粉スギ約五万本を出荷しました。スギ特定苗木の出荷量は実生苗としては全国一の出荷量になります。

当組合独自のスギ特定母樹採種園の造成

当組合では、県で進めている林木育種事業を補完し安定的な苗木供給を図つていくため補助事業を活用しながら、県の採種園に加え、認定特定増殖事業者の指定を受けスギ特定母樹採種園を会津美里町に二二ヶ、南相馬市に八ヶを造成し、令和七年十月七日に県から育種母樹の指定を受けました。

○会津美里採種園【指定番号：福島育三二二号】
特定母樹クローン数：一六クローン

(耐雪性特定母樹)
植栽母樹数：五九四本(九九本×六フロック)
○南相馬採種園【指定番号：福島育三〇号】
特定母樹クローン数：一〇クローン

植栽母樹数：二七〇本(九〇本×三フロック)

指定を受けた採種園からの採種は今年から予定しており、会津地方へのスギ特定苗木の供給は令和十年秋植えから可能となる見込みです。当組合としては出来るだけ早く県内全



南相馬採種園

域に「花粉の少ない品種」を植栽できるように取り組みを進めてまいります。

秋植えの推進(再造林の増加への対応)

当組合で出荷しているスギ・ヒノキ苗木の約九割が春期に集中しております。コンテナ苗は裸苗と比べ幅広い時期に植栽ができる利点がありますので、秋植えを推進することにより造林事業者と苗木生産者の労務の分散化を図り、より多くの面積の造林と苗木の供給が可能になると考えております。当組合では、秋植えを推進する取組の一環として、今年から秋(九〜十月)に出荷するスギ・ヒノキ苗木の販売価格を割引します。

おわりに

当組合においては、花粉症対策苗木の出荷を令和四年から開始し、今年は県内で植栽されるスギ苗木の七割程度の約六五万本の出荷を予定しております。今後、令和十四年までに供給するスギ苗木の全てを花粉症対策用の苗木に切り替えていく計画です。

当組合では今後、国や県等による再造林の推進に伴い、増加が見込まれる苗木の需要に対応できる生産体制を構築するとともに、関係機関・団体と連携を強化し、優良な苗木の安定供給をとおして、森林資源の循環利用と森林の有する多面的機能の高度発揮、地域の活性化に向けた取組に貢献してまいります。

木の文化を育む⁸⁶

古民家から広がる木と里山の循環
〜木・農・食を通して育む、
地域と自然のつながり〜
(一般社団法人 nononowa)

郡山女子大学 生活科学科 建築デザイン専攻 准教授 阿部 恵利子

〇はじめに

田村市船引町長外路に広がる里山は、畑や田んぼ、山林、古民家が隣り合い、自然とともにある暮らしの風景を今に伝えていきます。かつて長外路城があったとされるこの地では、古民家を生かしながら、木や竹に触れる体験、農の営み、食を囲む時間を通して、人と自然、人と地域をゆるやかにつなぐ交流の場が育まれています。

〇里山との出会いを原点に

二〇二五年に一般社団法人 nononowa (田村市) を設立した代表理事の中山真波さんと熊谷優希さんは、阿武隈高原の里山をフィールドに、自然の循環や食をテーマとした体験活動ができる交流拠点を立ち上げました。中山さんにとって、その原点の一つが幼少期の林間学校での体験です。自然の中で過ごした記憶が、いま里山とかかわる実践へとつながっています。

〇里山の資源を生かす営み

古民家を生かした交流の場

同法人では、畑で作物を育てながら、この土地の自然環境を生かした暮らしを営んでいます。養蜂にも取り組み、森や藪は子どもたちの遊びと学びの場としての活用も見据えています。また、栽培しているナツハゼには、地元の栽培事業を受け継いでいきたいという想いが込められています。

〇木や竹を生かす手仕事

活動の拠点となる古民家では、囲炉裏や土間を復活させ、天井を剥がして茅葺きが見えるようにするなど、建物本来の魅力を引き出す工夫がなされています。こうした整備の一部は参加者を募って行われ、DIYで丁寧な手をかけながら交流の場が育まれてきました。囲炉裏を囲む時間や土間のある空間は、人と人を自然に近づけ、里山の暮らしに触れる入口にもなっています。

交流の場では、木や竹など里山の素材を身近に感じる体験が行われて



古民家の内観



竹を編んで製作したコンポスト



ナツハゼの実



Instagram



HP

←ぜひご覧ください！

います。グリーンウッドワークのワークショップでは、木に触れ、削り、形にしていく楽しさを共有します。今年六月には、一輪挿しづくりも予定されています。また、里山整備で伐採した竹は、流しそうめん交流会やコンポストづくりなどに活用されています。竹を編んでつくるコンポストには、ビニールハウスで使われていた支柱も生かされており、身近な素材を循環させる工夫が重ねられています。コンポストは、生ごみを処理して田畑の肥料として生かすだけでなく、廃棄されるウールやリネン、コットンを微生物の力で分解し、資源の循環へとつなぐ試みの一つにもなっています。

〇食文化と循環を育む場

同法人が実践する農泊、農業体験、染め物、食育活動などの多様な取り組みは、里山の資源を暮らしの中で生かしながら、人と自然、人と地域とを結ぶ時間を育んでいます。囲

炉裏で火を起こし、郷土料理をつくる時間には、火と食、人との繋がりをゆっくり味わう豊かさがあります。

〇人が関わり続ける里山へ

里山の整備や体験活動は、地元の高校生や異業種の友人たちなどに支えられながら進められています。草刈りや山林の管理には多くの手が必要のため、中山さんと熊谷さんは、「志を同じくする仲間の輪を広げ、自然環境を整えながら、山を活用する人たちが支え合える関係を育んでいきたい」と考えています。

〇まとめ

古民家を生かし、木や竹、農や食を通して里山の魅力を伝える一般社団法人 nononowa の取り組みは、この土地ならではの豊かさを感じさせてくれます。あなたもこの場所と自然がつながる豊かな時間を過ごしてみませんか。

県森連いわき共販における木材市況（4月分）

令和8年5月1日
福島県森林組合連合会

(単位：㎡当り千円)

樹種	素材				摘要
	長級 (m)	径級 (cm)	高値	低値	
スギ	4.00	9下	12.0	11.5	
		10~13	14.0	13.5	
		24上	13.5	13.0	
	3.65	16上			
		24上	11.5	10.3	
	3.00	9下	11.5	9.5	
		10~13	11.5	10.3	
		14~16	10.5	10.0	
		18~20	12.2	11.5	
	6.00	22上	13.1	11.8	
16~20		14.0	13.5		
2.00	16上	7.5	6.0		
ヒノキ	4.00	10~13	9.0	8.8	
		14~16	15.6	14.0	
		18~20	16.2	15.0	
		22上	16.2	15.2	
3.00	16~20	16.0	14.5		
アカマツ	4.80	18~22			
	4.00	18~22	10.5	10.0	
		24上	10.5	10.0	
	3.00	16~22	10.5	10.0	
24上		10.5	10.0		

樹種	素材				摘要
	長級 (m)	径級 (cm)	高値	低値	
カラマツ	4.00	12下			
		13~14			
		16上			
クリ	4.00	16上	12.0	11.0	
	3.00	16上	11.0	10.5	
モミ	4.00	20上			

市況概要と市況展望	5月の共販日
販売量は3,094㎡（前年同月比87%）でした。 スギ3m、4m中目材は、引き合い強く、活発に取り引きされました。先行きこの状況が続くと思われませんが、丸太の入荷状況があまり良くないため、供給量に不安が残ります。出荷のほど、よろしく願いいたします。	18日(月) 27日(水)

行事とお知らせ
18日(月) 創立記念市 いわき木材流通センター 県森連の木材市況は、県森連のホームページでもご覧いただけます。
福島県森林組合連合会 木材市況 検索

壁面には塗壁を採用。木材を引き立てる配置とすることで、質感や表情づいています。

一方で、内装すべてを木にせず、壁面には塗壁を採用。木材を引き立てる配置とすることで、質感や表情づいています。

東白川郡塙町にある広大な製材工場の敷地内に、ひととき目を引くモダンな木造二階建ての事務所があります。

ここは、国内でも有数の製材工場と集材材工場を有する協和木材株式会社。昨年四月に新事務所が完成し、五月より使用を開始しました。



木へのこだわりが見える新事務所

福島県南農林事務所 渡部 昌 俊



執務室の状況

吹き抜けを支えるスギの通し柱は現しとし、天井にはスギの間柱をルーバー状に配置。窓枠も木製で統一され、スタイリッシュな中に木のぬくもりが感じられます。

一級建築士である佐川和佳子事務所のこだわりが細部まで宿るこの事務所は、塙町の隠れた木の魅力発信スポット。紙面では伝えきれない魅力も多く、興味を持たれた方はぜひ同社を訪ねてみてください。

はなしの
ひろば

五月の風

新聞をとり朝の玄関を開けると、五月の風が通り過ぎていく。重くもなく軽くもなく、湿り気もなく特別な風だ。その瞬間、こんないい風を待っていたのだ、と思う。

風は、空気が動いているもの。木立のそよぎや煙のたなびきそして水面上に風が通ると波やさざ波が生まれる。風は目には見えないけれど、そのものが風の形に揺れると風の在りようがわかる。

あちらこちらの田に水が張られ、田植え前の水田がみられるようになってきた。水田は、大きな大きな風の鏡だ。小さな波が風の形に生まれては消え、消えては生まれる。そして、五月の光が反射してとてもきれいだ。車での帰宅途中、赤信号で止まった車窓からの情景だが、昔懐かしい人に、お元気で、すか、と白い便箋で手紙を書きたくなるほどの原風景だ。田植えが終われば、今度は苗がまた風の形になり、風の通り道と少し湿った匂いを運んでくる。五月の風は、こんなふうに風の形や運んでくる匂いの変化で、季節の小さな移ろいを伝えてくるのだ。

五月はゆっくりと無理なく自分の心身のリズムを整えながら、真夏に向けた準備の月だが、最近、気温の差が激しく、リズムを整えるどころか、リズムが追いついていかないほどだ。が、五月の夜風は穏やかだ。そんな夜風に身をおき、深く呼吸をしながら自らを整えてみるのもいい。夜風が湿った土のにおいを運んで来たら、それは雨がくる前ぶれかもしれない。

第一五六話(都)

表紙の写真



「滝を彩る春」

第40回ふくしま緑の写真コンクール
金賞
受賞者 千田春雄さん(二本松市)
撮影場所: 矢祭町
撮影スポット: 吉野平の不動滝

編集	福島県内四森林管理署 福島県森林・林業・緑化協会 福島県森林組合連合会 福島県木材協同組合連合会 福島県農林種苗農業協同組合 ふくしま緑の森づくり公社 森林研究整備機構福島水源林整備事務所 福島県森林・林業・緑化協会 (福島市中町五番一八号県林業会館内)
発行人	飯沼隆 陽光社印刷株式会社 (定価 一〇〇円)

お知らせコーナー

令和8年度

一般財団法人福島県林業会館
フォレスト助成金(協賛)事業の募集要項

- 趣 旨** 一般財団法人福島県林業会館(以下、林業会館という)は公益事業としてフォレスト助成金(協賛)事業を募集する。
- 総 額** 4,000千円
- 募集事業の内容**
 - 対象事業 イ. 森林の整備 ロ. 木材の利活用 ハ. 特用林産の振興 ニ. 森林・林業教育学習 ホ. 森林とのふれあい推進 ヘ. 森林・林業に関するその他必要と認める事業
 - 事業費 一事業あたりの助成金(協賛)額は、原則として20万円以内とする。
- 助成(協賛)対象者**
 - 県内の林業に携わる県内所在の団体であること
 - 交付条件を遵守することが確実であること
 - 交付金によって目的事業を実施することが確実であること
- 申請方法**
 - 申請手続 事業の目的、内容、交付申請額を福島県林業会館事務局まで提出する。詳細は事務局まで電話でお問い合わせください。
 - 事業の実施期間 令和8年4月1日から1年以内
 - 受付期間 令和8年4月1日から5月末日まで
- 事業の採択決定**
林業会館が設置する「フォレスト助成金審査委員会」で選定いたします。
- 応募先** 〒960-8043 福島市中町5番18号 一般財団法人福島県林業会館事務局あて
TEL・FAX 024-522-2407

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》



たまちい

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)

または最寄りの森林組合



そよりん

GFB-90S

フェラーバケット
グラップル

新発売

イワフジ独自の2WAYバケットと格納式ソーユニットを装備した
道付け用オールインワンアタッチメント

For the future with forest

IWAFUJI

イワフジ工業株式会社



Website



Instagram



YouTube



(本社・工場) 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西5-1

TEL : 0197-23-3111 FAX : 0197-25-3177

(支店) 札幌・東北・仙台・関東・中部・関西・中四国・九州



東北コピー販売

福島office 福島市御山一本松13番5号 TEL 024-559-0245
郡山office 郡山市富田町後久保60-1 TEL 024-961-1961

<https://t-copy.co.jp>



人と共に 緑と共に

For Professional



BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

ZHM1550RR



SR3100

For Professional

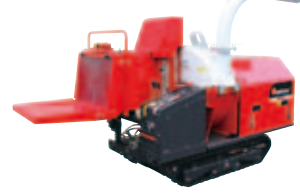


GZ3950EZ
排気量 39.1cc

GZ4350EZ
排気量 43.1cc



刈幅：1500mm 出力：27.5kW



破砕径：200mm 出力：18.4kW



ハスクバーナ・ゼノア(株) 福島県代理店

(有) うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1